

## V 自由記述

安全・安心なまちづくりについて、たくさんのご意見やご提言が寄せられました。

その中から主な意見を抜粋し、分野ごとに掲載しました。

寄せられましたご意見については、ここに掲載していないものも含め、各分野別対策委員会にて協議し、今後の安全・安心なまちづくりに活用させていただきます。

問43 安全・安心なまちづくりについて、ご意見やご提言がありましたら、ご記入ください。

### 1.セーフコミュニティ

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
セーフコミュニティを知らなかったので、今回の意識調査で活動の内容まで知ることができて良かった。今後は市民に知って貰えるような活動と取り組みを行って市民からの意見も取り入れて欲しいと思います。よろしく願いいたします。	男	40～49歳
住みやすい環境と人員の確保が必須。もっと落ち着いて生活をしたい。これからも安心・安全な環境をみんなで創っていききたいです。よろしく願いします。とても良いきっかけになりました。	男	40～49歳
安全・安心なまちづくりのソフト面では個人1人ひとりの意識改革が必要だと思えます。家の周りや周辺の清掃、外出時のカギかけ徹底、ゴミ収集場の清掃、町内会ゴミ拾いの参加など個人で出来る事は今後も行っていきたい。セルフネグレクトにならないように気を付けたい。	男	40～49歳
横断的な連携や協働のより一層の強化を期待します。市民が改善を体感出来るまでは、ある程度の継続と常に成果の測定と評価が重要かと考えます。大変かとは思いますが、ご尽力願います。	男	50～59歳
官民協奏のもと、各分野に分かれて活動しているこのセーフコミュニティが今後もより周知を図りながら引き続き進めていってほしい。	男	60～64歳
市民が安心して暮らせるまちであるには正確な情報を速く広く周知し、その上で判断し自分で安全・安心を手に入れる事も必要だと考えます。もっともっと安全・安心な郡山になり、子や孫が首都圏から戻りたいと思える都市になってほしいと思います。	男	60～64歳
このアンケートを通してセーフコミュニティの存在・意義を知り得た事が良かった。	女	65～69歳
セーフコミュニティについてまったく知らなかったのもう少し解りやすく市民の方々に推進していただけたらと思っております。(高齢者より)	女	75歳以上

### 2.地域

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
隣近所を含めた交流を基本に、自分の身は自分で守るという意識が大切かなと思えます。	女	50～59歳
身近なところで言うと「町内会」に加入しない家が増えました。理由は色々で諸事情もあると思えますが、「町内会」に加入しない＝町内会費を払わないではなく、町内会に入らないのなら町内会費を払うのが望ましいと思えます。誰かのために誰かが自治会の仕事をしています。支払わない人の分も防犯や災害の備蓄を用意しなくてはならず我が町内会は赤字です…。安全安心はご近所から生まれると思っておりますが自分さえ良ければと思う人が最近も多くコミュニケーションがとれていません。	女	50～59歳
夫婦共に町内活動に積極的に参加しています。いつ何が起こるか分からない現在、家族で孤立とならない様、地域、町内との交流を持ちながら助けあい安全・安心に生活していきたいと思えます。	女	60～64歳
自分の住んでいる町内の人達と話をしたり聞いたりして、仲良くお付き合いをする。助け合いながら声をかけあいながら生活をしていく。仕事をやめたら散歩のついでに声かけを率先してやっていきたいと思っております。まずはあいさつから。	女	65～69歳

### 3.交通安全

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
道が狭く、歩行者に当たらないか運転する時に不安。道の線がうすれているところが多々ある。事故が怖いです…。	女	20～29歳
郡山市内の主要部は道路の舗装や標識の設置など子供にも十分な配慮が見受けられるが、周辺部（工業地域）にある住宅街は危険を感じる箇所が多い。通学経路については、毎年しっかり見直しをかけてほしいと感じます。	男	40～49歳
住宅街等車を運転する際どちらが優先道路なのか分かりにくい道路が多い。標識が少なすぎる。事故を誘発している様に思ってしまうので事故が多いところは即改善してほしい。	女	50～59歳
あと数年で免許証返納を考えているが、自転車も道路が整備されていない所もあるので不安です。また交通手段となるとタクシーもいつか使用できるようになるので金銭的にも不安です。タクシー券では足りないと思います。	女	65～69歳

### 4.防犯

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
郡山は良いところはたくさんあるが駅前の治安の悪さがとても気になる。市外、県外の友人知人からそのことについて話題になるほどで…。ガラが悪いよねと他から言われない街づくりに私も協力していきたい。	男	20～29歳
・監視カメラ設置（ステッカーやダミー含む）を特に要所に（大きな道）。 ・隣市・町とも連携強化、連絡を密に。	女	30～39歳
携帯電話契約の際に詐欺にあっているケースを身近に見ました。マイナンバーカードなどの偽造などあるようです。デジタルシステムが進む中、そのデメリットも大きくなっているように感じます。簡単に人を信じてはいけないうちの中になっっているなど大きな懸念を抱えています。	女	40～49歳
駅前の治安が悪くなっているのにびっくりしました。これからもパトロールなど宜しくお願いします。セーフコミュニティは今回知りました。もっと多くの市民に知られるといいと思います。	女	50～59歳
地域の見守りありがとうございます。毎日安心して暮らしています。	女	75歳以上
通路にゴミが散乱していたりマナーが悪いですね。キレイな道や場所は治安が良くなりそうですね。一人一人の意識が変わる事でしょう。	男	75歳以上

### 5.こどもの安全

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
私は子供を授からず、そのかわり何か子供達に対して貢献できないかと考えながら過ごしております。ただ、情報がなかなか分からないため、どんな活動がありどんなことに困っているのか、私たちのような子なし夫婦でも手助けできることを教えて頂きたい。今回のアンケートで初めて知ることができた部分もあり感謝申し上げます。	女	40～49歳
今特に思うことは子供に対する虐待です。名古屋の小1の女児が死亡してしまったこと…胸が痛いです。二度と起きてほしくないです。周りの大人で何とかしてほしいです。かわいそうでなりません。	女	70～74歳

### 6.高齢者の安全

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
独居の高齢者が生活困難になった場合のネットワークがスムーズに行くシステムを作してほしい。	女	50～59歳
高齢者の免許返納を促すことが出来るように公共交通の充実を希望。	男	50～59歳
自分はもう高齢者なので出来る限り皆さんに迷惑のかからない様に頑張って外出するようにしています。100才体操やったり、グランドゴルフをしたり皆さんに迷惑のかからない様になるべく外出しています。残りの人生楽しく過ごしたいといつも願っているところです。	女	75歳以上

## 7.防災・環境安全

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
災害への備えはまだまだ意識が低いと思います。非常持ち出し品準備はほとんどしていません。アンケートに記入する事で再認識しました。	女	50～59歳
防災無線が家の両側にあり、放送が時間差でハモるので聞きづらい。大雨、地震の時の放送が特に聞きづらい。	男	50～59歳
郡山市の「安全・安心なまちづくり」は少しずつ前進しているように思います。管理する方たちの工夫に感謝しております。よろしく願います。非常時に必要な物資の備蓄、整備、ボランティア体制等の構築（行政の先行の基）が大切かと思えます。	男	65～69歳
地球温暖化による気候変動で今までの常識は何も通用しない世の中になっているので、個人でできる事なんて何もないから、とにかく甚大な災害が起きた時にライフラインの確保が最優先だと思えますので、本当に市民に寄り添った対策お願い致します。	女	65～69歳

## 8.自殺予防

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
郡山市で病気以外の死因で第1位が自殺であることを初めて知って驚きました。心の安定できるやさしい町づくりになるように各関係機関が連携をとり合ってすばらしい町にして下さい。自殺者がいなくなるよう祈っています。よろしく願います。	女	50～59歳
命の大切さを学ぶ。そしてその大切な個々の命をお互いが認め合い助けあっていくという基本を学びの場でしっかり教え高めていくことと広報活動が大切と考えます。	女	75歳以上
種々の「相談窓口」は設置されていますが、問題は窓口につながる迄の間に問30のような“心のかっとう”があるはず。周囲の人がこれにいかにか気付くかが大切。	男	75歳以上

## 9.その他

ご意見・ご提言	属性	
	性別	年代
ごみ捨てに関して不安があります。郡山市は1人あたりが出すゴミの量が多いとも聞きます。捨て方に不安があると家のゴミ屋敷化や心身の不調につながります。ゴミに関する情報を誰でも受け取りやすくなると嬉しいです。分別、回収の方法や不用品の処分について詳しい情報が欲しいです。	女	40～49歳
テレビや広報などを通して市民の意識を高める。常に情報発信し市で行っていることを知ってもらう。例えば自治体によって様々な補助金があり、その制度の活用の仕方など市民の身近に感じられるものなどがあると便利（防犯カメラ）	女	60～64歳
自分もそうなのですがまわりの人のことを気にかけることが大事なのではないかと思えます。思いやりが大事。	女	60～64歳
少子高齢化が進み、支える層が少なくなっている。結婚や出産、育児等に一層の支援を実施し、人口の増加を図ってほしい。いつの間にか教育にとってもお金がかかる時代になり、積極的に子供を育てられない様になってしまった。長い期間をかけて計画的に市民の増加を計画してほしい。	女	70～74歳